

# 2017 環境レポート

The earth is defended by recycling.  
It challenges the recycling of limited natural resources.

## Re - Cycle is Re - Fresh

もったいないの国へ

レポート対象期間：2017年7月1日～2018年6月30日



株式会社 田中商会

発行日：2018年 8月 25日

改定日：2018年 9月 28日

## 目 次

1. 組織の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1~7
2. 対象範囲・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・8
  - (1) 認証・登録範囲
  - (2) レポートの対象期間及び発行日
  - (3) 対象組織
3. 経営理念及び環境方針・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・9~10
4. 環境目標・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・11
5. 環境活動計画・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・11
6. エコアクション2.1実施体制・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・12
7. 環境目標とその実績・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・13~19
  - (1) 環境目標及びその実績
  - (2) 2017年の目標と実績比較
  - (3) 環境への負荷の状況
  - (4) 受託した産業廃棄物の処理量
8. 環境活動計画の取組結果とその評価及び次年度の取組・・・・・・・・・・20
9. 環境関連法規の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反訴訟の有無・・21
10. 代表者による全体評価と見直しの結果・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・22

## 1. 組織の概要

- (1) 事業所名 株式会社 田中商会  
代表取締役会長 田中 篤
- (2) 所在地 ・本社 〒710-0803 岡山県倉敷市中島1395  
・関連事業所(水島作業所) 〒712-8073 岡山県倉敷市水島西通1-1950-4
- (3) 法人設立年月日 昭和27年 5月 7日
- (4) 資本金 1,000万円
- (5) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先  
・環境管理責任者 室山 敏彦  
・担当者連絡先 環境事務局 大垣 史浩 橋本 大介  
TEL 086-465-3050

### (6) 事業の概要

#### ① 営業品目

## 営業品目

### 製鋼原料(鉄スクラップ)

- 各種鋼材屑
- ドラム缶その他缶類(スチール缶)
- 機械屑
- 廃棄自転車
- その他の鉄屑

### 製紙原料(機密書類処分など)

- ダンボール
- 新聞・チラシ
- 雑誌類
- その他紙屑や古布
- オフィスの機密文書・個人情報などの書類も回収し、安全安心にリサイクルします。

### 非鉄金属(銅・アルミなど)

- 各種銅・銅線屑
- ステンレス
- アルミ
- その他非鉄金属

### 産業廃棄物処分業(中間処理)

- 廃プラスチック類
- 繊維屑
- ガラス
- その他木屑など

### 産業廃棄物収集運搬 一般廃棄物収集運搬

企業の事業活動の中で排出される金属、繊維、ガラスなどの「産業廃棄物」や一般家庭から出される生ゴミ不燃性ゴミ、粗大ゴミなどの「一般廃棄物」を収集運搬を行います。

### 計量証明事業

法定計量単位により物証の状態の量を測り、その結果に関し、公に又は業務上他人に、一定の事実が真実である旨を証明する事業です。

廃棄物を再資源化することで  
環境保全につながる業務を行っています。

■ 製鉄原料部 (本社)

■ ラバウンティ切断処理



■ マグネットによる選別処理



■ ギロチンシャー切断処理



■ 三方締プレス固形加工



(専用面積) 8,500㎡ tel.086-465-3050 fax.086-465-3051

- ギロチンシャー ..... 1基
- 三方締プレス ..... 1基
- ジャンボシャーリング ..... 1基
- 天井クレーン ..... 4基
- ナゲット ..... 1基
- パワーショベル ラバウンティ他 ..... 3台
- 60tスケール ..... 1基

■ 工作所 (本社)

■ オシレート巻機による加工



■ ミニスリッターによる加工



■ オートシャーによる加工



(専用面積) 3,500㎡ tel.086-465-7866 fax.086-466-0441

- ミニスリッター ..... 1基
- 2連式オシレート巻機 ..... 1基
- オートシャー ..... 4基
- シャー ..... 3基
- 50tプレス ..... 1基
- ホイスト ..... 3基

■ 水島作業所

■ 門型クレーンによる選別



■ パワーショベルによる選別



■ 極電スラブ切断



水島作業所  
〒712-8073  
倉敷市水島西通り1-1950-4  
tel.086-446-4036  
fax.086-445-1561

- 伸鉄材選別ライン ..... 1基
- 門型クレーン ..... 3基
- パワーショベル (マグ付) ..... 3基
- フォークリフト ショベル ..... 4基





さまざまな廃棄物が  
リサイクルによって生まれ変わります。

# RECYCLE

■鉄くず・ドラム缶・建屋解体物など



■アルミ缶・アルミ製品など



■雑誌・新聞・ダンボールなど

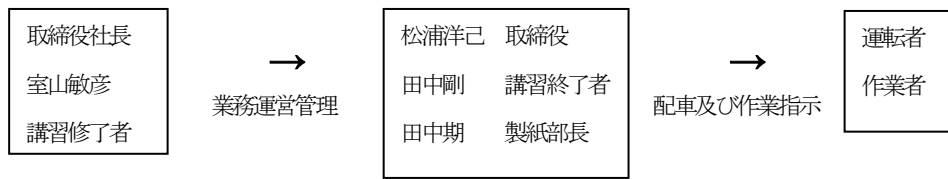


(6)－④-1 事業許可状況一覧

事業許可内容	許可番号	許可年月日 (更新年月 日)	許可有効期限
岡山県産業廃棄物収集運搬業 種類: 汚泥、廃油、廃プラスチック類、紙屑、木屑、動植物性残渣、 金属屑、ガラス・コンクリート・陶磁器屑、がれき類	3303057853	H26. 1. 7	H30.12.23
倉敷市産業廃棄物処分業 事業の範囲(中間処理) 圧縮: 廃プラスチック類、金属屑、ガラス・コンクリート・陶磁器屑 (三方締プレス 100 t/日(8時間)) 切断: 廃プラスチック類、金属屑、ガラス・コンクリート・陶磁器屑、 がれき類 (ラウンディングマシー 80 t/日(8時間)) 圧縮・切断: 廃プラスチック類、金属屑、ガラス・コンクリート・陶磁器屑 (キロゾンヤー 200 t/日(8時間)) 被覆電線剥離: 廃プラスチック類、金属屑 (ナゲット 1.6 t/日(8時間)) 圧縮梱包: 廃プラスチック類、紙屑 (ベリングマシーン 160 t/日(8時間)) 破砕: 紙屑 (9.6 t/日(8時間))	10020057853	H26. 10. 22	H31. 9. 21
岡山県特別管理産業廃棄物収集運搬業 種類: 廃酸、廃アルカリ	3353057853	H28. 8. 1	H33. 7. 24
使用済自動車引取業(倉敷市)	21001000054	H29. 6. 11	H34. 6. 10
使用済自動車破砕業(倉敷市)	21004000054	H27. 1. 6	H31. 11. 30
使用済自動車解体業(倉敷市)	21003000054	H27. 1. 6	H31. 11. 30
倉敷市一般廃棄物収集運搬業(積替え保管)	11	H30. 4. 1	H32. 3. 31
フロン類回収業	331130037	H29. 6. 11	H34. 6. 10
建設業許可 (とび・土工)	24916	H28. 3. 30	H33. 3. 29
古物商許可	0014516	H9. 5. 23	/
岡山県再生事業者登録	14	H5. 11. 26	/

(6) ④-2 事業計画の概要

(1) 業務の管理及び施設の運営管理体制



室山敏彦を統括責任者として業務の指揮管理を行う

(2) 業務を行う時間・休日等

営業時間 Am 8:00 ~ Pm 5:00

休日 日曜、祝日、盆、年末年始

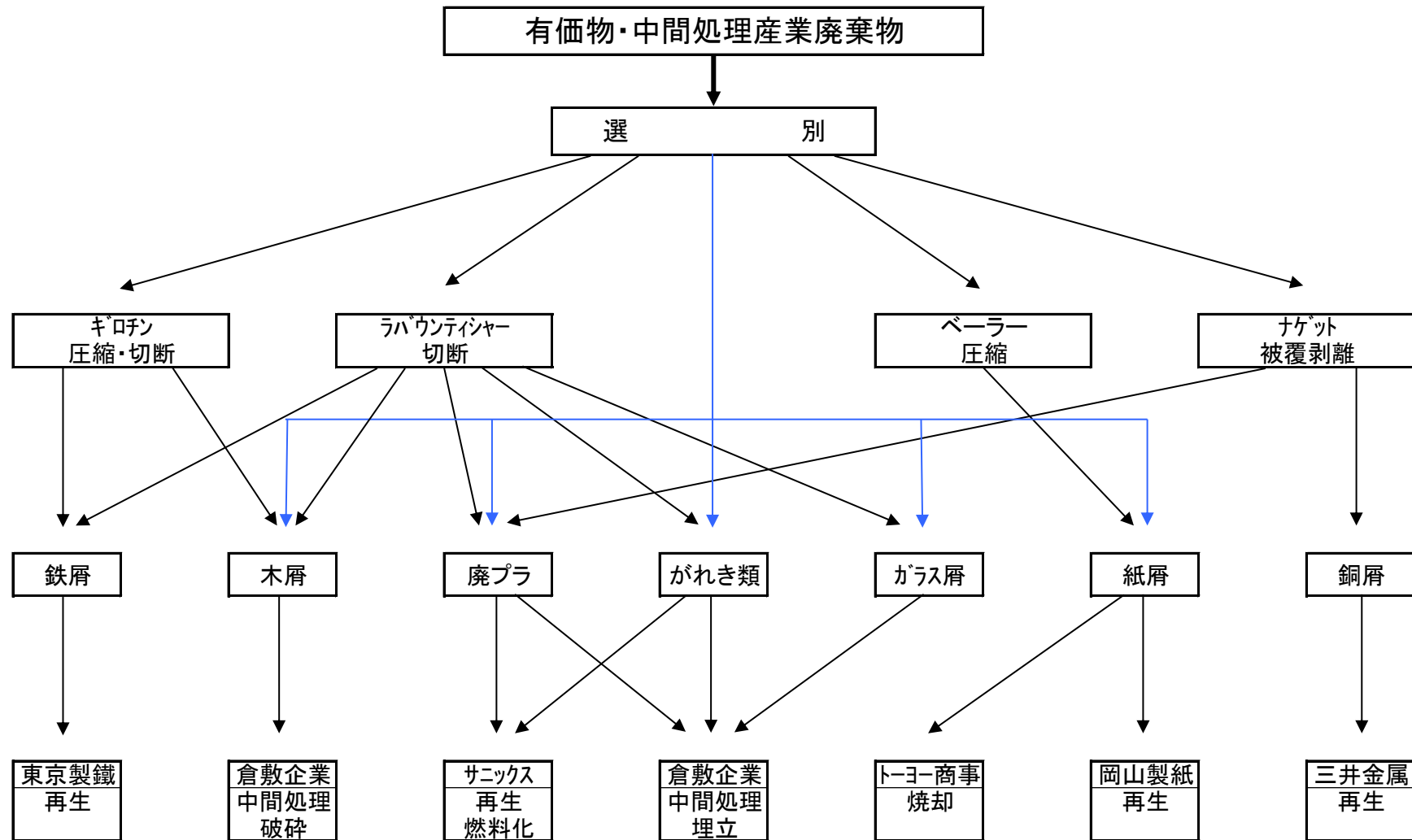
④-3 収集運搬 許可車輛

車種	台数	車種	台数
15tヒアブ	2台	8tパッカー	1台
8tヒアブ	2台	4tパッカー	4台
5.5tヒアブ	1台	4t平ボディ	1台
8tマルチ	1台	2t平ボディ	1台
4tマルチ	2台	4tバン	2台
10tマルチ	2台	2tバン	1台
軽四トラック	1台		

④-4 産業廃棄物処理料金

- ・有価物（金属、紙屑等）が95%以上。
- ・中間処理費用参考価格→ 14,000円/m<sup>3</sup>（その都度現物確認の上算出）

(6)-④-5 有価物・産業廃棄物処理工程図





(7) 事業の規模

活動規模	単位	2013 年度	2014 年度	2015 年度	2016 年度	2017 年度
処理量	t	159519	172339	157563	160177	172389
売上高	百万円	2952	2999	2433	3021	3710
従業員	人	73	73	73	74	74
床面積	m <sup>2</sup>	31700	31700	31700	31700	31700

## 2. 対象範囲

### (1) 認証・登録範囲

- ① 金属類・紙類の再資源化
- ② 金属の加工及び販売
- ③ 廃棄物（一般・産業）の収集運搬及び中間処理

### (2) レポートの対象期間及び発行日

- ・レポート対象期間：2017年7月～2018年6月
- ・レポート発行日：2018年8月25日
- ・レポート作成：製鋼原料部 田中 剛
- ・レポート承認：環境管理責任者 室山 敏彦

### (3) 対象組織

#### ① 本社工場

製鋼原料工場（2300坪）

- ・金属屑の回収及び加工販売
- ・産業廃棄物収集運搬及び中間処理

製紙原料工場（2400坪）

- ・古紙の回収及び加工販売
- ・機密書類のシュレッダー

工作所（900坪）

- ・薄板のシャーリング加工及びスリット加工

#### ② 関連事業所

水島作業所（4000坪）

- ・厚板の選別及び切断

### 3. 経営理念及び環境方針

#### (1) エコアクション21 経営理念

## 経営理念

国益を重んじ社会貢献に努め取引先に愛され、  
もって社員の未来を重視すると共に、子孫より  
預託された環境を保持し、且つ改善の一助たる  
べく社内において自己完結を目指し、その実行  
に向け総ての努力を傾注する。

平成26年 5月14日

株式会社 田中商会

代表取締役 田中 篤

## 環境経営方針

株式会社 田中商会は『もったいないの国へ』をスローガンに廃棄物（産廃・一般）の収集運搬・中間処理業を行い、社内にあつては自己完結を目指し、周辺環境に充分配慮しながら、国家・地域行政と共に循環型社会構築の活動に貢献する事により、経営理念に基づいた環境経営を推進していきます。

### 行動指針

- ・ 二酸化炭素（CO<sub>2</sub>）排出量を削減し地球環境の改善に努めます。
- ・ 節水への取組みと、適切な排水管理により水管理の保全に努めます。
- ・ 廃棄物の3R（リデュース、リユース、リサイクル）推進及び普及に努めます。
- ・ 廃棄物処理法、リサイクル法、消防法その他各種法律を遵守します。



平成 30 年 7 月 1 日

株式会社 田中商会

代表取締役 田中 篤

## 4. 環境目標

2010年に認証を得てから、当初2014年度までの目標設定を行い取り組みを実施してきました。2015年度は見直しの時期でもあり、外部環境により則した目標とするため直前3ヶ年の実績より平均を図り2015年度(基準年)の目標設定とし、2019年まで毎年2%削減する目標を定めました。また増加目標は2014年度より引き続き2%増加させていく目標設定と致しました。

上記の通り5年毎の見直しなので、中長期の目標設定は2020年度に新たに設定する。単年度の目標設定は下表の通りです。

	2015年(基準)	2016年	2017年	2018年	2019年	
削減目標	化石燃料 (kg-CO2/t)	4.99	4.89	4.79	4.7	4.6
	電力 (kg-CO2/t)	5.04	4.94	4.84	4.74	4.65
	温室効果ガス合計	10.03	9.83	9.63	9.44	9.25
	水 (m <sup>3</sup> )	2,983	2,923	2,865	2,806	2,751
	産業廃棄物 (t (自社分))	129	126.4	123.9	121.4	119
	一般廃棄物 (t)	87.4	85.7	83.9	82.3	80.6
増加目標	グリーン購入(%)	28.6	29.2	29.8	30.4	31
	廃棄物再資源化率(自社分)	53	54	55	56	57
	廃棄物再資源化率(受託分)	53	54	55	56	57

※「基準年」(削減目標)＝過去3年(2012～2014年)の平均値を使用

※グリーン購入の基準年＝2012年度の購入実績の割合

※化石燃量及び電力＝原単位(取扱い数量(t)あたり)

※水及び廃棄物＝実数値

※グリーン購入＝全購入金額に対するグリーン購入対応品の割合(%)

※購入電力のCO2実排出係数＝中国電力の2014年度実排出係数

0.706Kg-CO2/Kwhを使用

※化学物質は使用していないため、目標は設定せず

## 5. 環境活動計画

環境目標を達成させるための活動をPDCAに基づき「エネルギー」「水」「廃棄物」「法令」の4つの観点から環境活動計画として定め、環境事務局を責任者とし実施する。半期と年度末には評価を行うとともに、必要な活動計画の改善を図り目標達成(2%削減及び増加)に努めます。

### (1) エネルギー

- ・不稼働時のエンジン停止及び不要なアイドルをストップする。また、1運搬量の増加を心掛け(運搬の効率化)、化石燃料使用量を抑制し各月の目標達成率100%を目指す。
- ・事務所・設備等の不使用時は電源を切る。また、加工においては各設備の1稼働当りの取扱数量を増加(まとめて加工)させ、稼働率の向上を図り目標達成率100%を目指す。

### (2) 水管理

- ・防火用水・散水・洗車には、可能な限り地下水及び雨水を使用する。
- ・排水に関しては油水分離槽で管理する。
- ・蛇口の閉め忘れチェックの実施。

### (3) 廃棄物

- ・自社発生廃棄物の分別を徹底し、ゴミの発生を抑制するとともに、産業廃棄物の再資源化率50%以上の達成を目指す。
- ・受託した産業廃棄物(中間処理物)の分別及び処分方法の見直しを図り、再資源化率50%以上の達成を目指す。

### (4) グリーン購入

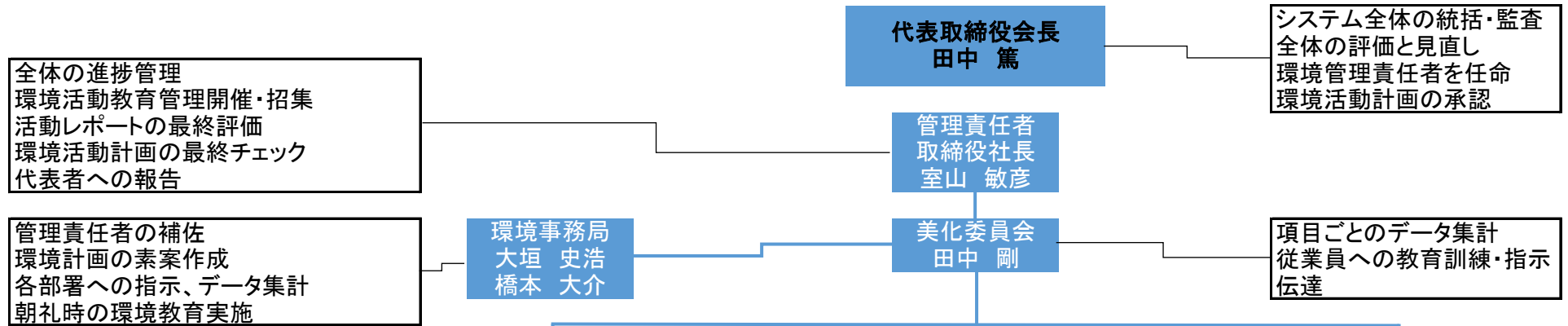
- ・使用品目を把握するとともにグリーン購入対応品を随時チェックし、可能な限りそれらへのシフトを図り、購入割合を増加(年率2%)させる。

### (5) 化学物質

- ・空調機などの廃棄に伴い、フロン回収法に基づき適正に回収し専門業者に引き渡す。(当社としてこの量を目標に掲げるのは適切でないため、目標には挙げていない。)



## 6. エコアクション21 実施体制



		製鋼原料部 松浦 洋己	製紙原料部 田中 期	工作所 大垣 史浩	本社事務所 小野 妃佐子	水島作業所 橋本 大介
燃 料	車両	渡辺 勝治	伊東 猛			田中 満
	エンジン・リフト	金池 康明 村上 和隆	真鍋 政宏			三浦 大
	プレス・ジャンボ	梶谷 正光	齊藤 英司	塩尻 雄輝	松浦 洋己	田中 満
	キロチン・クレーン	佐枝 次秋	平野 孝一	大西 洋二	小野 妃佐子	
電 気	ペーラー・事務所	谷平 賢美		佐枝 洋次		
	スリッター・シャー					
水・ 排 水	蛇口の閉め忘れチェック	金池 康明	木村 恵美子	森川 英昭	佐藤 友一	寺地 敏子
	散水・洗車時の地下水、雨水の使用 切断作業の防火水 地下水、雨水の使用 油水分離槽にて排水管理する	川合 直行	上村 真一	鷹取 裕美	片岡 理恵	
廃 棄 物	廃棄物の管理	安田 欽	金光 利直	高橋 淑華	岩崎 真也	田中 満
	パレットの再利用 使用済用紙の裏紙利用			味元 隆裕	高村 志保	

### 7-(1) 環境目標及びその実績

エネルギーに係る原単位:実績(kg-CO2)/生産(t) 廃棄物・排水に係る目標値:実数値 グリーン購入に係る目標値:G対応品/全購入(金額)

環境目標			2014年度			2015年度			2016年度			2017目標	2017年度		
活動項目		該当部所	実績	生産(t)	原単位	実績	生産(t)	原単位	実績	生産(t)	原単位	原単位	実績	生産(t)	原単位
エネルギー	<b>電力</b> 単位 kg-Co2	製鋼原料	243454	35235	6.91	235771	36117	6.53	212629	33451	6.36	6.08	213679	34270	6.24
	二酸化炭素の排出量を2019年	製紙原料	193278	23949	8.07	195926	23118	8.48	184268	23317	7.90	7.20	168233	24979	6.73
	まで毎年2%ずつ削減する	工作所	111726	7647	14.61	105226	7179	14.66	123047	6897	17.84	14.02	126186	7396	17.06
		作業所	45912	61588	0.75	46510	43573	1.07	39989	50145	0.80	0.90	32993	48793	0.68
		事務所	18746			3393			25364	-	-		18088	-	-
		全社	613116	128419	4.77	586826	109987	5.34	585297	113810	5.14	4.84	559178	115438	4.84
	<b>化石燃料</b> 単位 kg-Co2	製鋼原料	268281	35235	7.61	254716	36117	7.05	275633	33451	8.24	6.54	296649	34270	8.66
	二酸化炭素の排出量を2019年	製紙原料	154311	23949	6.44	154895	23118	6.70	175269	23317	7.52	5.58	178483	24979	7.15
	まで毎年2%ずつ削減する	作業所	223270	61588	3.63	178670	43573	4.10	203566	50145	4.06	3.91	211894	48793	4.34
		全社	645862	120772	5.35	588281	102808	5.72	654468	106913	6.12	4.79	687025	108042	6.36
	合計		1258978	128419	9.80	1175107	109987	10.68	1239765	113810	10.89	9.63	1246203	115438	10.80
廃棄物	廃棄物(自社分) 単位 kg		2014年度			2015年度			2016年度			目標値	2017年度		
	廃棄物排出量を2019年まで	一廃	83,550			73,990			85,320			83.9	63,090		
	毎年2%ずつ削減する	産廃	222,660(70,060)			155,360(115,920)			148,947(84,047)			123.9	149,010(80,020)		
	(( )内再資源化量) 合計		306,210(70,060)			229,350(115,920)			234,267(84,047)			207.8	212100(80,020)		
排水	<b>水道水</b> 単位 m <sup>3</sup>	本社	483			508			553			535	610		
	水道水使用量を2019年まで	3工場	1,155			1,316			2,158			1379	2,454		
	毎年2%ずつ削減する	作業所	836			767			917			951	1,314		
	合計		2,474			2,591			3,628			2865	4,378		
グリーン購入 (%)		全社	72.3			47.7			29.7			29.8	42.4		
コメント	電力:	工作所では生産量が増加したものの原単位が目標値を上回ってしまった。全社で見れば目標値はクリアできた。													
	化石燃料:	製鋼部、製紙部は生産量が増加したものの原単位が目標値を大幅に上回っている。作業所も目標値には程遠いので改善の必要がある。													
	廃棄物:	一般廃棄物は目標値をクリアできたが、産廃では上回ってしまったので、更なる削減が必要。													
	水使用:	上半期に3工場、作業所で漏水があり、目標値を大幅に上回ってしまった。現在修理は完了している。													
	グリーン購入:	目標値を大幅にクリアできた。来年度も引き続き取り組みを継続していく。													

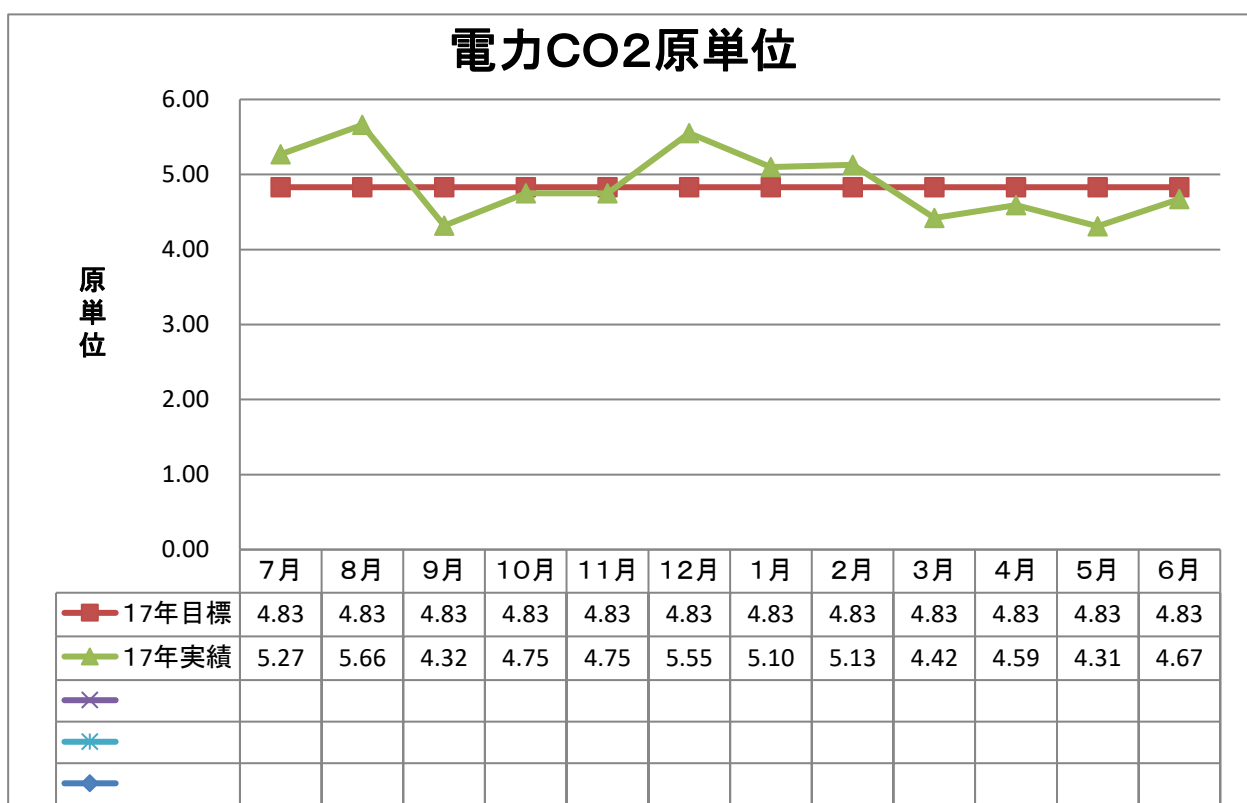
## 7-(2) 電力 2017年 目標と実績比較

### ① 温室効果ガス 電力CO2原単位

(トンあたり使用量(kg-CO2/t))

2017年( 2017年7月～2018年6月 )

電力	17年目標	17年実績
7月	4.83	5.27
8月	4.83	5.66
9月	4.83	4.32
10月	4.83	4.75
11月	4.83	4.75
12月	4.83	5.55
1月	4.83	5.10
2月	4.83	5.13
3月	4.83	4.42
4月	4.83	4.59
5月	4.83	4.31
6月	4.83	4.67
年間	4.83	4.84

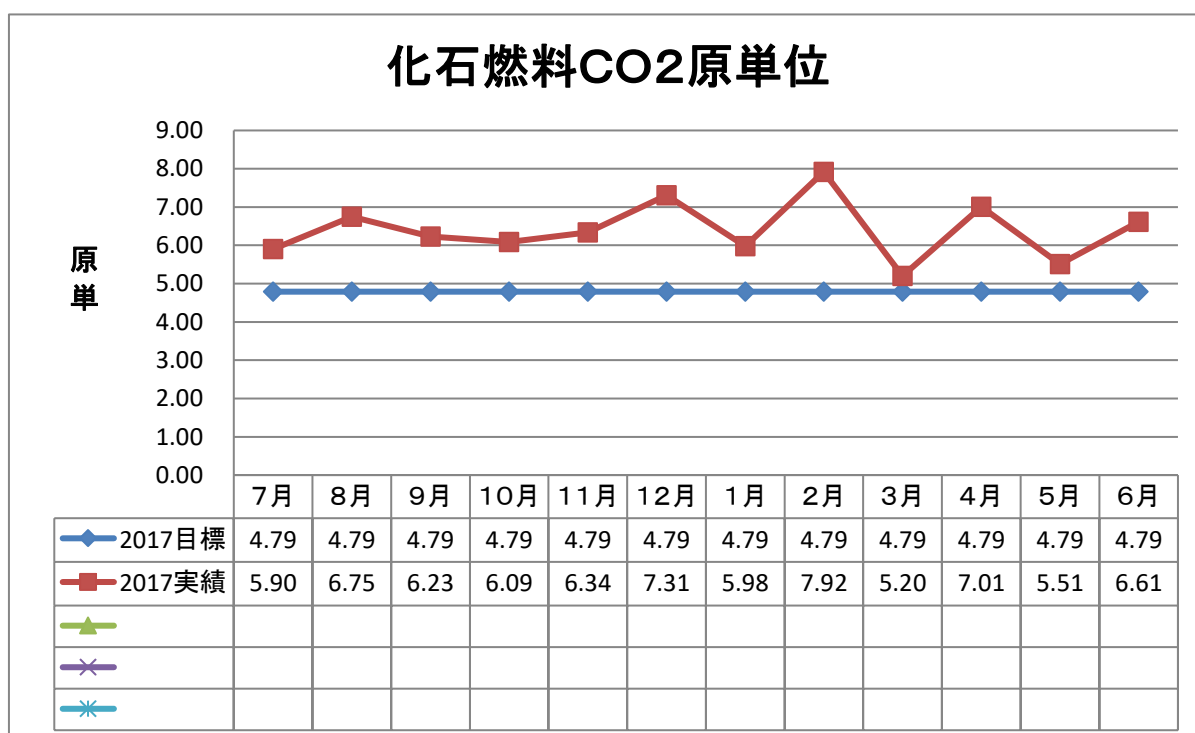


## 7-(2) 化石燃料2017年 目標と実績比較

### ② 温室効果ガス 化石燃料CO2原単位

(トンあたり使用量(kg-CO2/t) 2017年( 2017年7月～2018年6月 )

化石燃料	2017目標	2017実績
7月	4.79	5.90
8月	4.79	6.75
9月	4.79	6.23
10月	4.79	6.09
11月	4.79	6.34
12月	4.79	7.31
1月	4.79	5.98
2月	4.79	7.92
3月	4.79	5.20
4月	4.79	7.01
5月	4.79	5.51
6月	4.79	6.61
年間	4.79	6.36



## 7-(2) 産業廃棄物2017年 目標と実績比較

### ③ 産業廃棄物(自社排出分)の実績と目標

産業廃棄物 (kg) 2017年( 2017年7月～2018年6月 )

	2017目標	2017実績
7月	10,290	15,110
8月	10,290	2,890
9月	10,290	3,140
10月	10,290	19,323
11月	10,290	11,597
12月	10,290	18,324
1月	10,290	10,980
2月	10,290	20,490
3月	10,290	0
4月	10,290	9,843
5月	10,290	21,950
6月	10,290	7,710
合計	123,480	141,357





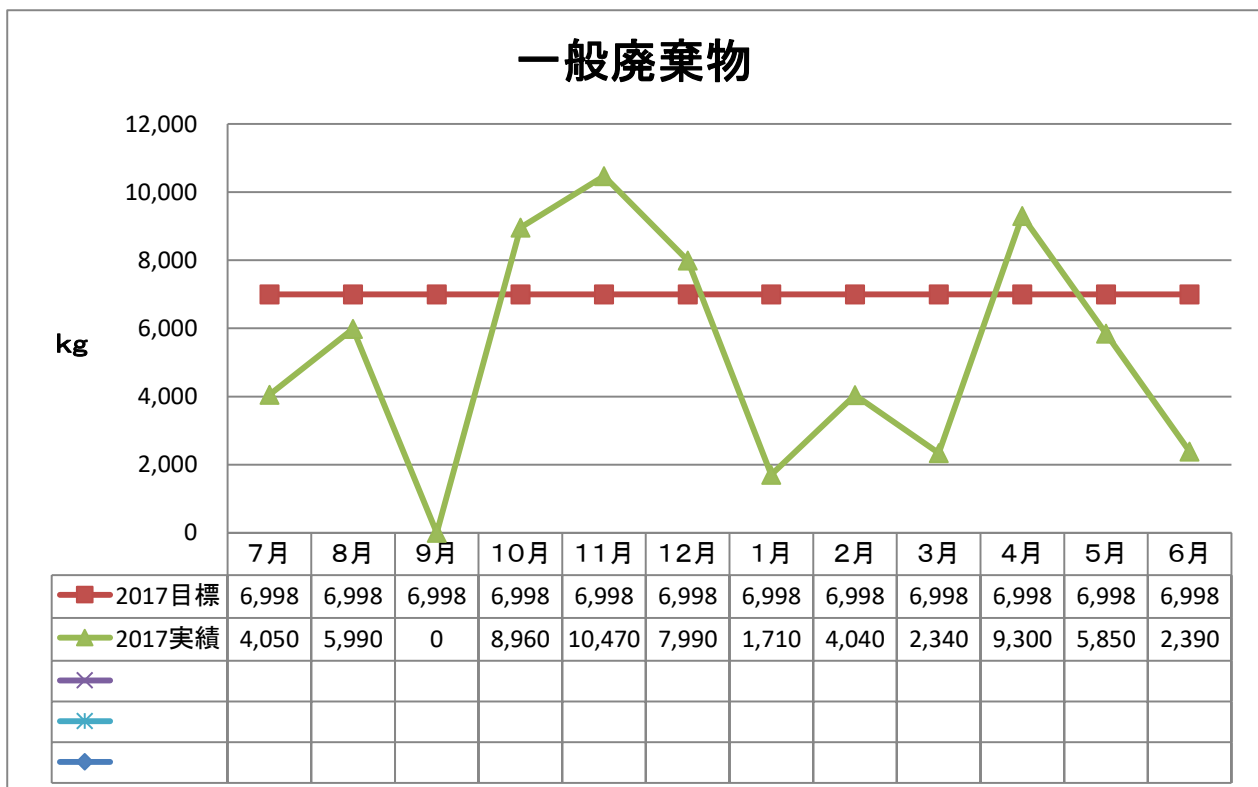
## 7-(2) 一般廃棄物2017年 目標と実績比較

### ④ 一般廃棄物の実績と目標 (倉敷環境センター)

一般廃棄物 (kg)

2017年( 2017年7月～2018年6月 )

	2017目標	2017実績
7月	6,998	4,050
8月	6,998	5,990
9月	6,998	0
10月	6,998	8,960
11月	6,998	10,470
12月	6,998	7,990
1月	6,998	1,710
2月	6,998	4,040
3月	6,998	2,340
4月	6,998	9,300
5月	6,998	5,850
6月	6,998	2,390
合計	83,980	63,090



7-(3) 環境への負荷の状況(取りまとめ表)

環境への負荷		単位	2017年度	
①温室効果ガス排出量	二酸化炭素	Kg-CO <sub>2</sub>	1246203.37	
	( )	Kg-CO <sub>2</sub>		
②受託した産業廃棄物の処理量	収集運搬量	t	18.93	
	中間処理量	t	774.94	
	うち再資源化等量	t	501.81	
	最終処分量	t	0.00	
	中間処理後の産廃の処分量	t	774.94	
	中間処理後の産廃の再資源化量	t	501.81	
③廃棄物排出量及び 廃棄物最終処分量	一般廃棄物	熱回収	t	63.09
		最終処分量	t	
			t	
	産業廃棄物	再生利用	t	80.02
		最終処分量	t	61.34
			t	
④-1 総排水量	公共用水域	m <sup>3</sup>	1094.50	
	下水道	m <sup>3</sup>	3283.50	
④-2 水使用量	上水	m <sup>3</sup>	4378.00	
	工業用水	m <sup>3</sup>	0.00	
	地下水	m <sup>3</sup>	0.00	
⑤化学物質使用量		Kg	928.23	
⑥エネルギー使用量	購入電力	MJ	7785723.71	
	化石燃料	MJ	10006442.99	
	新エネルギー	MJ	0.00	
	その他	MJ	0.00	
⑦物質使用量	資源使用量	t	0.00	
	循環資源使用量	t	108042.34	
⑧サイト内で循環的利用を 行っている物質等量	利用された物質量	t	0.00	
	水の利用量	m <sup>3</sup>	0.00	

7-(4) 受託した産業廃棄物の処理量

2017年度（ 2017年 7月 ～ 2018年 6月）

処理方法等		廃棄物等種類	処分方法等	処理量 t
収集運搬（排出業者～処分場）				18.93
（排出業者～田中商会）		中間処理物		169.28
収集運搬量合計				188.21
中間処理		金属屑	切断	435.84
		紙屑	圧縮	31.40
		木屑	破碎	33.54
		廃プラ	破碎	237.21
		ガラス陶磁器	破碎	29.96
		がれき	破碎	6.99
うち再資源化等		(金属屑)	切断	435.84
		(紙屑)	圧縮	31.40
		(木屑)	破碎	33.54
		(廃プラ)	破碎	1.03
	再資源化等量小計			501.81
中間処理合計				774.94
最終処分				
最終処分量合計				0.00
中間処理後の産業廃棄物	最終処分	廃プラ	安定型埋立(委託)	236.18
		ガラス陶磁器屑	安定型埋立(委託)	29.96
		がれき	安定型埋立(委託)	6.99
	再資源化等	金属・紙屑	破碎又は圧縮後各メーカーへ	467.24
		木屑	焼却(炭化)(委託)	33.54
		廃プラ	燃料化	1.03
		再資源化等量小計		
中間処理後処分量合計				774.94

## 8. 環境活動計画の取組結果とその評価及び次年度の取組

### 取組み結果

エネルギー及び水使用目標達成率(%)

		7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	年間
電力	製鋼原料部	92.6	82.5	134.8	95.3	101.3	89.8	101.9	107.0	107.0	92.8	85.0	83.3	97.5
	製紙原料部	113.7	109.8	114.7	112.0	111.6	86.6	100.9	98.4	138.7	89.7	107.5	99.5	106.9
	工作所	73.1	75.3	87.4	96.6	89.1	64.3	76.7	73.1	88.1	88.0	99.2	83.5	82.2
	作業所	102.0	86.2	117.8	120.3	143.1	123.4	122.4	123.6	156.8	184.2	186.7	184.4	133.5
化石燃料	製鋼原料部	70.0	56.2	91.3	89.6	79.6	62.7	89.5	64.8	89.4	69.3	78.6	69.1	75.6
	製紙原料部	83.0	86.6	79.3	81.5	84.0	64.8	86.8	62.5	123.1	54.8	82.0	62.9	78.1
	作業所	82.1	84.6	84.1	86.3	88.7	83.1	85.5	77.8	87.4	85.5	97.0	103.3	87.3
水	本社	—	81.1	—	83.3	—	101.3	—	86.6	—	83.3	—	93.9	87.7
	3工場	53.9	—	36.6	—	27.3	—	150.2	—	119.7	—	107.4	—	56.2
	作業所	52.1	—	38.5	—	68.3	—	152.3	—	111.6	—	132.0	—	72.3

※上記パーセンテージ=各月の目標値/実数値

一般廃棄物・産業廃棄物の削減目標達成率及び産業廃棄物の再資源化率(%)

		7月-9月	10月-12月	1月-3月	4月-6月	年間
受託産業廃棄物の再資源化率		61.4	63.7	66.6	56.9	64.8
自社発生産業廃棄物	削減目標達成率	146.0	62.7	98.1	78.1	87.4
	再資源化率	49.1	67.8	5.3	87.3	56.6
一般廃棄物削減目標達成率		209.1	76.6	259.5	119.7	133.1

### 評価及び次年度の取組

#### <製鋼>

電力については、前年度と変わらずほぼ目標を達成できている。

化石燃料についてはスクラップの発生量が減少した影響と取引時の積み込む数量が少なくなり遠方の引取りも増えた影響から目標値を達成する事が出来なかった。

水に関しては目標値を達成する事は出来なかったが、エコアクション21での月毎の集計等により漏水を見つけ修理をすることが出来たのでエコアクション21の活動をしていてよかったと思う。

今後も今まで以上に社内での教育等を継続して行い目標値を達成できるよう努力する。

#### <工作所>

昨年度よりエコアクション21担当者を選任し電力削減やそれに伴う環境を構築し2年目になり、工作所内でも冷暖房の温度管理、電源のこまめな切断、機械の保守・点検等に取り組む姿勢は向上してきた。

今年度は、生産量の増加により昨年度より達成率を上回る事が出来たが、目標値を達成するには至らなかった。

今後は毎年更新される目標値に近づけるように電力使用量の削減や生産能力が向上しやすい環境になるよう創意工夫をし、今年度と同等に高い意識でエコアクション21に取り組み目標値を達成できるように努めていきたいと思う。

#### <製紙>

電力は12月・2月・4月・6月が達成されず電気の使用量の増加よりも生産量の低下が目立つ。

燃料は3月以外は達成できず。特に4月は悪くなっているが、ペーラー機の据え付けの為の準備のため直接生産をせずメーカーへ出荷している事が大きいと思われる。電力と同じく12月・2月・4月・6月の結果が悪いが、生産量の低下が大きいと思われる。12月・2月に関しては灯油の使用も結果に反映されているが6月に関しては生産量が低下していることが大きな原因である。

#### <作業所>

電力の達成率は7月を除けば全ての月で100%を超えたので、この調子で節電をしていく。化石燃料は100%を超えた月もありますが、年間の達成率が87%とまだ改善の余地があるのでアイドルングストップや作業の効率化等をオペレーターに周知徹底していく。水は漏水があり上半期は達成率の低さが目立つが、漏水の修理を終えた下半期は全て100%を超えたのでこの調子で節水していく。と同時に漏水に早く気付けるようチェック体制を強化する。

#### <廃棄物>

自社排出・受託分ともに中国の環境規制の影響による国内の再生利用分(サーマル、マテリアルリサイクル)に余剰が生じ出荷先が限定され、結果埋立量の増加から再資源化率が低下した。

## 9 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟の有無

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました  
尚、関係機関及び工場近隣からの違反の指摘、訴訟もありませんでした。

法令等の名称	該当する 条項等	適用される要求事項	最終改定日	違反がないかチェック		
				12月	6月	
基本・一般	○環境基本法	第8条	・事業者の責務(ばい煙、汚水、廃棄物等の処理その他の公害防止、自然環境の保全に必要な処置を講ずる。製品の使用又は廃棄による環境への負荷の低減に努める)	H26.5.30	○	○
	○振動規制法	第5条	・特定工場等に係る規制基準を遵守	H26.6.18	○	○
		第6条	・特定施設設置の届出			
	○騒音規制法	第5条	・特定工場等に係る規制基準を遵守	H26.6.18	○	○
第6条		・特定施設設置の届出				
大気	●フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律(フロン排出抑制法)	第6条	・特定製品(業務用エアコン、冷蔵等)の整備・廃棄時のフロン回収・破壊	H25.6.12	○	○
		第19条	・引取証明書による回収・破壊の工程の確認			
水質	○水質汚濁防止法	第2条	・水質基準の遵守	H28.5.20	○	○
	●下水道法	第10条	・下水道への放流	H27.5.20	○	○
	●浄化槽法	第5条	・設置または変更時の届出	H26.6.13	○	○
		第8～10条	・保守点検			
第11条	・定期検査					
悪臭	●悪臭防止法	第7条	・規制基準の遵守義務	H23.12.14	○	○
		第10条	・事故時の措置と報告			
廃棄物・リサイクル	○循環型社会形成推進基本法	第11条	・廃棄物なることの抑制に努める	H24.6.27	○	○
	●廃棄物の処理及び清掃に関する法律(廃棄物処理法)	第6条	・産業廃棄物収集運搬車へのマニフェスト・許可証等の書面備え付け	H29.6.16	○	○
		第7条	・一般廃棄物処理業者は市町村長の許可が必要			
		第14条	・産業廃棄物処理業者は市町村長の許可が必要			
			・許可業者に委託(一廃は許可証の確認)			
		第20条の2	・許可業者に委託(産廃は契約)			
	施行例8条	・マニフェスト発行・返送遅延時の届出 ・マニフェスト交付状況の報告 ・岡山県廃棄物再生事業者登録 ・専ら再生利用を目的の収集・運搬業者に委託				
	○ポリ塩化ビフェニル廃棄物の適正な処理の推進に関する特別措置法(PCB処理法)	第2条上	・ポリ塩化ビフェニル廃棄物	H28.5.2	○	○
	●資源の有効な利用の促進に関する法律(リサイクル法)	第4条	・専ら物リサイクル化	H26.6.13	○	○
	○容器包装に係る分別収集及び再商品化の促進等に関する法律(容器リサイクル法)	第4条	・事業者の責務(分別排出の協力)	H23.8.30	○	○
○特定家庭用機器再商品化法(家電リサイクル法)	第6条	・TV・洗濯機・冷蔵庫・エアコンの破棄	H23.6.24	○	○	
○国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律(グリーン購入法)	第5条	・環境物品等を選択するよう努める	H27.9.11	○	○	
●建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律(建設リサイクル法)		・解体時のリサイクル化	H26.6.4	○	○	
その他	●消防法	第21条の4	・火災報知機の設置(工場500㎡以上)	H27.9.11	○	○
			・屋内消火栓の設置(工場700㎡以上)			
	第31条の4	・消防用設備等の点検と報告				
●水銀による環境の汚染防止に関する法律(水銀汚染防止法)		・産業廃棄物処理及び保管基準の遵守 ・委託基準の遵守	H27.6.19	○	○	

●遵守義務 ○遵守努力義務



## 10. 代表者による全体評価と見直しの結果

### 見直しに必要な情報

環境管理責任者の報告及び改善への提案

[取組状況の評価結果]

○環境目標の達成状況及び問題点の是正及び予防(P11,P13,P20)

・電力に関しては目標を達成しており取組を継続していく。  
化石燃料に関しては達成率80%台と取組の強化が必要なため、見直しを図った実施体制を活用し管理を強化していく。  
水管理に関しては漏水を改善後目標達成値に到達していることから監視を継続していく。  
廃棄物の再生資源化に関しては外部情勢等の変化もあり目標達成は困難な状況となっている為、新たな再生先及び目標値の見直し等検討していく

・環境関連法規等の遵守状況(P21参照)

当社が遵守及び努力義務のある法令に関して評価の結果、違反等はありませんでした。  
今後も継続して環境関連法規を遵守していきます。

・外部からの環境に関する苦情や要望等(P21参照)

環境関連に関する近隣住民からの苦情や要望等はありませんでした。  
今後も継続して活動計画に取り組んでいきます。

### 代表者による見直し

変更の必要性の有無・指示事項

[環境方針]

変更の必要性：なし

[目標・活動計画]

変更の必要性：なし

### 総括

○代表者による全体評価及び指示

・美化委員会の活動に付随してエコアクション21の取組みも活発化しており、取組み体制は大変満足している。現場サイドでは水害廃棄物の入荷増により処理が困難な分解・解体物も増加し、軽油・ガスの使用量が増加傾向にあるが、削減対策をしながら安全作業に努めている。  
本年度は各部門(電力・化石燃料・水・資源化率等)の削減・増加強化月間を設け、部門月間目標の達成を実現し、新たな部門での月間目標を設けるなどして、その積み重ねで年間目標達成となるよう努力をお願いしたい。